

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	イオンタウン千種
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市千種区千種2丁目16番13号
工場等の名称	イオンタウン千種
工場等の所在地	名古屋市千種区千種2丁目16番13号
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	総合小売事業
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和4年8月15日 ～ 令和4年11月13日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 従業員休憩室
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-734-5302		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、エネルギー使用の合理化に関する法律による活動を合わせて事業展開を実施します。

①省エネルギー活動の推進

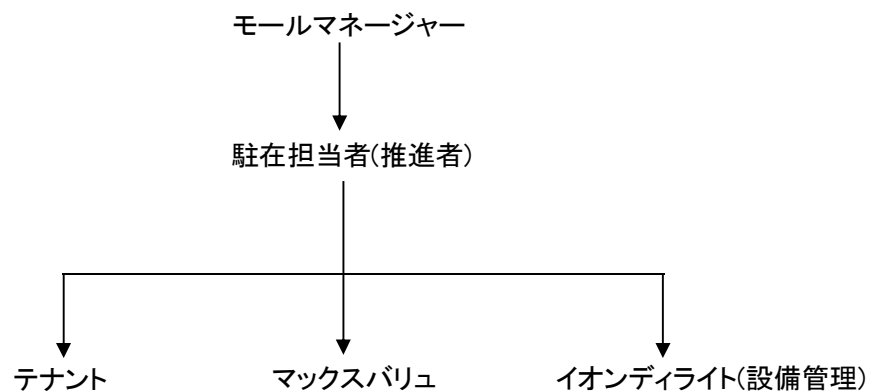
運用の見直し、機器の適正な運転により
また、LED等省エネ効果のある機器への変更を推進し
電気、燃料等の営業時間当りのエネルギー使用量を毎年1%削減します。

②従業員への環境教育の推進

環境目標を全員参加で取り組みます。

③廃棄物の発生抑制、リサイクルの促進

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,961	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3,961	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
原単位あたりの排出量	1.014	t-CO ₂ / 時間	0.9836	t-CO ₂ / 時間	0.9866	t-CO ₂ / 時間		t-CO ₂ / 時間
削減率（対 基準年度）			3.0	%	2.7	%		%
原単位あたりのみなし排出量					0.9859	t-CO ₂ / 時間		t-CO ₂ / 時間
削減率（対 基準年度）					2.8	%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

基準年度（前年度）は新型コロナウイルス感染による営業時間短縮や一部テナントでテイクアウトのみ営業する時間帯がありエネルギー効率が悪かった。今年度は営業時間が通常に戻り目標を達成できた。
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	日々の外気・館内の温度を参考にし、空調の運転時間を最適化する。 外気の取入れを有効に利用し温度負荷を減らす。	空調及び外調機の運転管理の調整により年間使用量 1 % 減を目指す。	中間期に外気を積極的に取り入れた。
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	定期的には空調フィルターに洗浄の実施。 空調機の室内機及び室外機の洗浄の実施。	空調全部の空調フィルターを清掃する。	年 4 回フィルター清掃実施
省エネルギー・省資源の行動実践 照明	照明器具を高効率なものに変更する。 不要な照明を消す。		照明器具が故障したときは LED 器具に置き換えた。
省エネルギー・省資源の行動実践 エレベーター・エスカレーター	運転時間を見直し運転時間を最小限にする。 不要なエレベーター・エスカレーターは停止する。		後方エレベーター 1 基を毎日午後から停止。
廃棄物の排出抑制	両面コピー、裏紙利用を促進し、コピー用紙の有効利用を図る。 テナント排出ゴミについても分別を実施し、リサイクルできるものはリサイクルする。		両面コピーと裏紙使用し、カラーコピーも原則使用しない。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 3 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
2005年度	太陽光発電	最大出力 8kW

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力	太陽光発電	2.7 t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

2.7	t-CO ₂
-----	-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・環境保全型商品の販売拡大。・資源回収ボックスの設置。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--